

音楽をより身近に感じるための

# 特選 ヘッドフォンガイド

Headphones

## エニウム NUM-E1000 ¥48,000

●形式：カナル型 ●ドライバー：ハイブリッド型(Φ10mmダイナミック型+VST) ●再生周波数：10Hz～50kHz ●感度：100dB以上 ●インピーダンス：17Ω ●ケーブル長：1.2m ●プラグ：3.5mmミニ ●付属品：イヤークリップ(S/M/L) ●問い合わせ：(株)ネディア <https://num-audio.jp>

### 低域から高域まで驚くほどフラットなサウンドを聴かせる

試聴・文 ●橋爪 徹

数万円する高価なイヤフォンを購入するとき、私は製品の開発過程やこだわりに興味がわく。技術的な新しさや発売までの苦労話など、その機種だけのエピソードを知ることによって愛着が深まるものだ。

ネディアのイヤフォンブランド「n+um (エニウム)」は、カナル型イヤフォンNUM-E 1000を今年の初めに発売した。本機は実にユニークな開発過程を辿っている。セラミックスピーカーの開発に携わっていたオーツエイドの渡部社長は、圧電デバイスのコンサル会社を興してからイヤフォンの製作を続けていた。納得の行く試作品を持って、ネディアの渡部社長に聴かせたところ、確信に近い評価を得て製造販売へと繋がったようだ。“渡部”という名字、これは偶然の一致ではなく二人は実の兄弟。だからこそ嘘や駆け引きは一切なく、真剣に最高のものを作り出そうと開発に邁進したとか。私にも兄がいるので、なんだか羨ましいエピソードだ。

外観は、ステンレス筐体に施されたローレット加工が美しい。サウンド傾向は、驚くほどフラット。低域から高域まで個性がないのが個性といえる。分離や空間の広がりには良好で、歌モノから劇伴、オーケストラやフュージョンまでどんな音楽にも合う。少しばかり音場に霞みが掛かるのが惜しいが、ほかのステータスが軒並み良好でほとんど気にならない。

Beverlyのアルバム『AWESOME』を聴く。EDMを中心としたクールな楽曲群を実力派シンガーBeverlyが歌い上げる。EDMを聴くときは、ビートの再現性はもちろん、中高域の粒子の細

かさを高い解像度で描写するポテンシャルが再生機器に求められる。NUM-E 1000は、良質な10mmダイナミックドライバーが奏でる中低域にVSTユニットが実現した癖のない高域が合わさって、実に安定感のあるサウンドを聴かせてくれた。Beverlyの超ハイトーンボイスは、全帯域にわたってブレがなく抜群のエネルギーと安定感がある。まるで超大作映画の主題歌を何本も歌っているような圧倒的な貫禄だ。日本語の歌は彼女がフィリピン人であることを忘れてしまうほど。それを努めてナチュラルに聴かせてくれたNUM-E 1000。全帯域にわたって耳障りなピークがないため、EDMを長時間楽しんでも聴き疲れが少ない。

本機を気に入った筆者は、携帯ゲーム機にも接続して楽しんだ。RPGのセ

### パフォーマンスチェック



リフや効果音が明瞭で心地いい。モバイルリスニングが音楽試聴の主流になっている今、耳に優しい高級感のあるモデルを探しているなら真っ先にオススメしたい。オールラウンダーで活躍してくれるはずだ。



Beverly/AWESOME ●avex trax (AVCD-93689) ※〈DVD付〉

